

## 愛知大学 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

### ●大学全体

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」という建学の精神をふまえ、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標（教育研究上の目的）および学位授与方針を定めて教育を実践しています。本学は以下のような資質、能力および知識を身につけることを全学生に求めます。なおかつ、学位授与にあたっては、各学部・学科が定める科目区分毎の卒業必要単位数および専攻もしくはコース別の履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより総計 124 単位以上修得することが必要です。

- (1) 各学部・学科の専門知識・技能および情報処理等の汎用的能力を身につけることで、筋道を立てて物事を考え、課題を解決することができる。
- (2) 幅広い教養、豊かな人間性および社会的倫理観を身につけている。
- (3) 社会の諸事象について、主体的かつ総合的に判断できる能力を身につけている。
- (4) 国際的な視野から世界と日本を見つめ、多文化共生をめざす態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけている。
- (5) 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。

### ●法学部 法学科

法学部では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数およびコース別の履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を受けることにより、総計 124 単位以上を修得した学生について卒業判定を行い、以下の4つの能力を有すると判断される学生に対し、学位を授与します。

- (1) 社会正義や人権への理解を基礎として、対立する利益や価値を調整する能力。
- (2) 法や政治についての基本的な知識を現実の場面で応用できる能力。
- (3) 現実の社会的事象から法や政治についての問題を見出し、その問題を分析し、対処する能力。
- (4) 国際的な観点からこの国の法や政治の特徴や問題を的確に把握し、将来への構想を考える能力。

### ●経済学部 経済学科

経済学部では、時代が抱える問題を解決できる人材、「国際化・情報化」時代に対応できる人材、地域・社会に貢献できる人材、新しい価値の創造に努める人材の養成を目指しています。そのために、本学部生には深い教養と専門知識を身につけるとともに、課題発見能力、コミュニケーション能力、問題解決能力、論述・プレゼンテーション能力の修得を求めます。

そして履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数およびコース別の履修要件等をすべて満たした上で、厳格な成績評価を経ることにより、共通教育科目 36 単位以上、専門教育科目 74 単位以上を含め、総計 124 単位以上修得することを学位授与の要件とします。

### ●経営学部 経営学科

経営学部経営学科では、履修規程に定められた科目区分ごとの卒業必要単位数およびコース別の履修要件等を厳格な成績評価を経ることですべて満たし、かつ総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、以下の知識や能力を有し、ビジネスや行政などの様々な領域で活躍できると判断された学生に対し、学位を授与します。

- (1) ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスなどの分野の専門知識
- (2) アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識
- (3) 上記の知識を実践的、複合的に活用してビジネスの現場における問題を発見、分析し、解決する、あるいは、解決策を提案する能力
- (4) 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力

### ●経営学部 会計ファイナンス学科

経営学部会計ファイナンス学科では、履修規程に定められた科目区分ごとの卒業必要単位数およびコース別の履修要件等を厳格な成績評価を経てすべて満たし、かつ総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、以下の知識や能力を有し、ビジネスや行政、会計専門職などの様々な領域で活躍できると判断された学生に対し、学位を授与します。

- (1) アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の専門知識
- (2) ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスなどの分野の基礎知識
- (3) 上記の知識を実践的、複合的に活用してビジネスの現場における問題を発見、分析し、解決する、あるいは、解決策を提案する能力
- (4) 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力

### ●現代中国学部 現代中国学科

現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身につけているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。

### ●国際コミュニケーション学部 英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必修単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、英語で執筆された論文に対し、厳格な論文審査と口頭試問による審査を行うことで、英語の高度な運用能力を確認します。

### ●国際コミュニケーション学部 国際教養学科【2015 年度以降入学生 ※2018 年度から名称変更】

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、個別論文指導と厳格な審査を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する深い知識の習得を確認します。

### ●国際コミュニケーション学部 比較文化学科【2013 年度以降入学生】

国際コミュニケーション学部比較文化学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計 124 単位以上を修得した学生に対

して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、個別論文指導と厳格な審査を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する深い知識の習得を確認します。

### ●文学部 人文社会学科

文学部人文社会学科では、カリキュラム・ポリシーに従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および専攻別の履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。「卒業論文」は必修で、自分でテーマを決め、資料・実地調査を行い、これに基づいた解釈、先行文献との比較を通して、自分なりの結論を導き出します。なお、メディア芸術専攻では「卒業論文」に換えて「卒業制作」を提出することも認めます。「卒業論文」、「卒業制作」のどちらについても、論文審査（「卒業制作」においては付帯論文審査）と口述試験を行うことで、テーマ発掘力、調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力が養われたかを確認します。

### ●文学部 心理学科

文学部心理学科では、カリキュラム・ポリシーに従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。「卒業論文」は必修で、自分でテーマを決め、実験・調査を行い、得られたデータの分析と解釈、先行文献との比較を通して、自分なりの結論を導き出します。「卒業論文」については、論文審査と口述試験を行うことで、テーマ発掘力、実験あるいは調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力が養われたかを確認します。

### ●地域政策学部 地域政策学科

地域政策学部では、「地域を見つめ、地域を活かす」を学部理念とし、地域政策学に関する知識を基礎に、地域とその諸問題を深く理解し、まちづくりと持続可能な社会づくりに貢献できる高度な「地域貢献力」を備えた人材と認められる学生に学位を授与します。そのために、本学部生には修得すべき学修成果として次のことが求められます。

- (1) コミュニケーション能力・コミットメント能力・コンプライアンス能力を身につける。
- (2) 地域と生活にかかわる制度や法、政治、経済、行政を理解できる。
- (3) 地域の諸問題を科学的に把握できる。
- (4) 地域の諸問題の解決策を分析、考察できる。
- (5) 地域の問題に関する解決活動や計画立案に積極的に参加できる。
- (6) 地域再生や地域振興、地域活性化にかかわる手法や技術を身につける。
- (7) 交流、連携、協働の中で新たな地域の構想、創造のため具体的に行動ができる。

学位授与にあたっては、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に従い授業科目履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数およびコース別の履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価および卒業研究の審査を経ることにより総計 124 単位以上修得することを要件とします。

## ●短期大学部 ライフデザイン総合学科

短期大学部では、全学共通および短期大学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計 62 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導および審査を行います。また、2 年間を通じて、次の能力を身につけることを求めます。

- (1) 自分らしい生き方や職業について主体的に考え、自らの将来像の実現を図ろうとする能力。
- (2) 日本と国際社会を基盤に自らの文化・生活を見つめ、人とコミュニケーションできる能力。
- (3) 自立した女性としてのライフデザインについて理解を深め、社会に起きる様々な問題を思考できる能力。
- (4) 生涯にわたって学ぶことの意義を自覚し、地域社会の向上発展に貢献できる能力。

各ゼミで開かれる「卒業研究」は必修で、自ら関心の高いテーマを設定し、その成果の主題設定能力、問題分析能力、問題提起能力、プレゼンテーション能力、表現力を審査します。

## 愛知大学大学院 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

### ●法学研究科 公法学専攻

#### 【博士後期課程】

法学研究科公法学専攻博士後期課程では、3年以上在学し、専門科目の研究演習8単位を修得し、必要な研究指導を受けた学生に、博士論文の審査（審査委員会の予備審査と本審査）及び最終試験を行い、法学の学理面で自立的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる学識を有すると判断された者に、学位を授与することになっています。

### ●法学研究科 私法学専攻

#### 【博士後期課程】

法学研究科私法学専攻博士後期課程では、3年以上在学し、専門科目の研究演習8単位を修得し、必要な研究指導を受けた学生に、博士論文の審査（審査委員会の予備審査と本審査）及び最終試験を行い、法学の学理面で自立的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる学識を有すると判断された者に、学位を授与することになっています。

### ●経済学研究科 経済学専攻

#### 【修士課程】

経済学研究科修士課程では、（1）現代の経済社会について、広い視野からの学識に立ち、経済学に関する高度な知識と技能をもって分析・研究しうる能力をそなえた高度専門知識人の養成、及び（2）経済に関する専門性を要する職業等に必要能力をもった高度専門職業人の育成をめざしています。このような理念や目的のもと、愛知大学学位規程に基づき、修士課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。

なお、修士の学位論文については、2名以上からなる審査委員会により、厳格な論文審査および口述試験を行います。

#### 【博士後期課程】

経済学研究科博士後期課程では、経済学分野の研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる学識の育成、並びに高度専門職業人として、より先端的な技能と研究能力の向上、及びその基礎となる豊かな学識の修得を目的としています。このような理念や目的のもと、愛知大学学位規程に基づき、博士後期課程に5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む）以上在学し、40単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本大学院博士後期課程に3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む）以上在学すれば足りるようになっています。

なお、課程博士の学位においては、提出論文に対して、3名以上からなる審査委員会により、専攻科目および関連科目並びに外国語に関する試問を経て、厳格な論文審査と最終試験が行われます。

### ●経営学研究科 経営学専攻

#### 【修士課程】

経営学研究科修士課程では、学位授与方針を下記の通り定めます。経営学に関する、精深で高度な専門知識を有し、経済・社会や企業経営の変化に対応して自ら課題を発見し、それを論理的に分析・解決する能力を備え、その上で、次のいずれかの能力を有する者に修士の学位を授与します。

- (1) 経営学に関する高度な専門性を有する職業に必要な能力。
- (2) 経営学の分野で自立した研究者を目指して博士後期課程に進学できる能力。
- (3) 豊かな国際感覚を備え、グローバルな視点で経済・社会や企業経営を把握・分析できる能力。

修士課程では、2年以上在学し、32単位以上を修得しなければなりません。32単位の内訳は指導教授の担当する専修科目を12単位（演習8単位と講義科目4単位）履修し、この他に選択科目から20単位以上を修得することになっています。また、指導教授の承認を得て、他研究科の講義科目を8単位まで、協定校の講義科目を10単位まで履修し修了の要件とすることができます。演習8単位は1年次、2年次に各4単位履修する必要がありますが、それ以外には履修年次の縛りはありません。

#### 【博士後期課程】

経営学研究科 博士後期課程では、学位授与方針を下記の通り定めます。経営学に関する、より一層精深で高度な専門知識を有し、経済・社会や企業経営の変化に対応して自ら課題を発見し、それを論理的に集約し、成果を公表する能力を備えます。その上で、次のいずれかの能力を有する者に博士の学位を授与します。

- (1) 経営学の分野において、研究者として独創的な研究を自立して遂行できる能力。
- (2) 知識基盤社会を支える高度の専門性を有する職業に必要な研究能力。
- (3) 博士後期課程では、3年以上在学し、指導教授の担当する専修科目の研究演習8単位を修得しなければなりません。研究演習8単位は1年次、2年次に各4単位履修する必要があります。博士の学位論文は専修科目について提出するものとします。

### ●中国研究科 中国研究専攻

#### 【修士課程】

中国研究科修士課程では、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで記述しているように中国研究に特化しており、学際的に中国研究を行い、また中国研究の各分野における先行研究を踏まえた学位授与方針を採っています。専攻分野における研究能力を有すると認められる者に学位を授与します。

修士課程においては、愛知大学学位規程に基づき、修士課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。修士学位論文においては、先行研究を批判的に整理し、新たな開拓すべき研究分野であることを、十分な資料批判の上に立った資料解析と論理展開が説得的になされていることが必要です。

また、本研究科の学位授与の特色としてカリキュラム・ポリシーに記述しているようなデュアルディグリー・プログラムがあり、それに基づいて日中双方の学位授与が行われています。

#### 【博士後期課程】

中国研究科博士後期課程では、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで記述しているように中国研究に特化しており、学際的に中国研究を行い、また中国研究の各分野における先行研究を踏まえた学位授与方針を採っています。専攻分野について研究者として自立して研究活動を行う能力を有すると認められる者に学位を授与します。

博士課程においては、愛知大学学位規程に基づき、博士課程に3年以上在学し、12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。

博士学位論文においては、修士学位論文のところで記述した内容が新分野として如何に意義があるかにとどまらず、研究として一つの体系をなしていることが肝要です。

また、本研究科の学位授与の特色としてカリキュラム・ポリシーに記述しているようなデュアルディグリー・プログラムがあり、それに基づいて日中双方の学位授与が行われています。

## ●国際コミュニケーション研究科 国際コミュニケーション専攻

### 【修士課程】

国際コミュニケーション研究科修士課程では、学生は、専攻領域に関する高度な専門知識を有し、豊かな国際感覚を備え、自ら課題を探求し、それを論理的に分析・解決する能力をもつことが期待されます。2年以上在学し、愛知大学大学院学則に定められた修了に必要な単位数および専攻別の履修要件をすべて満たしたうえで、総計 32 単位以上を修得した学生に対して修了判定を行い、学位を授与します。必須の修士論文では、執筆された論文にたいして、厳格な論文審査と口頭試問による審査を行うことで、専攻領域・テーマについての深い知識・理解と主張の独創性を備えているかを確認します。

## ●文学研究科 日本文化専攻

### 【修士課程】

文学研究科日本文化専攻修士課程では、愛知大学大学院学則に定められた修了に必要な 32 単位を修得し、かつ修士論文を作成提出したうえで、修士の学位を授与します。修士論文の内容は、書き直しを含めた上で、査読のある専門誌に掲載されることが期待できる内容であることを必要とします。また修士論文提出後に主査・副査による論文審査と口述試問による審査を行います。

上記以外に、修士課程にある学生自身の知的探求心に基づく主体的な研究実践が望まれます。以下は、それに即した学位授与方針となります。

- (1) 日本文化に関する幅広い視野と見識を獲得し、資料批判能力や実証的な論証の技術を身につけることを通して、日本文化の諸事象に対して独自の判断・評価を行い得る人材であること。
- (2) 日本文化に関する専門的な知識と資料の読解力を有し、その能力を社会に還元できる人材であること。

### 【博士後期課程】

文学研究科日本文化専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則に定められた 4 単位を修得し、3 年以上在籍した上で、指導教授による論文作成の研究指導を受けた者は、課程博士論文を提出できます。課程博士論文の提出後、口述試問を含む審査委員会による厳密な審査を経て、課程博士の学位を授与します。課程博士論文は、査読のある専門誌に掲載された論文 2 本を含む、数本からなる専門論文で構成されるか、それに准ずる内容であることを必要とします。ただし、課程博士号は博士後期入学後 6 年以内であれば取得できます。

上記以外に、博士後期課程にある学生自身の知的探求心に基づく主体的な研究実践が望まれます。以下は、それに即した学位授与方針となります。

- (1) 日本文化に精通し、高度な専門的な知識と幅広い教養を駆使して、専門分野の研究を独自の視点から推進、発展させ得る能力を有すること。
- (2) 日本文化に関する専門的な知識と教養を有し、その培った能力を、教育・研究分野における専門的な職業人として社会に還元し得る人材であること。

## ●文学研究科 地域社会システム専攻

### 【修士課程】

文学研究科地域社会システム専攻修士課程では、愛知大学大学院学則及び「履修要項」の定めにより、基本的には2年以上在学し、32単位修得することが必要です。この内、地域システム研究方法論は必修科目4単位が必要であり、その他の選択科目は院生の履修目的と計画により選択履修します。本専攻では専修科目と指導教授制をとっており、演習のある専修科目のうち一授業科目（講義4単位、演習8単位）を選定し専修科目とし、専修科目を担当する教授を「指導教授」として、授業科目の選択や研究一般についての指導を受けるとともに、修士論文の作成について直接的な指導を受けます。

修士論文の内容は、以下の能力を修得していることを口述試験によって審査し、修士の学位を授与します。

- (1) 地域社会の構造と変動過程に関する広い視野と見識を持ち、多角的な視点から地域社会の諸問題を考察できる能力。
- (2) 地域社会の構造と変動過程に関する広い視野と見識を活用し、地域社会に貢献できる能力。
- (3) 地域社会の構造と変動過程に関する広い視野と見識を生かして、高度な専門性を必要とする職業に就ける能力。

### 【博士後期課程】

文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則及び履修規程の定めにより、授業科目の中から演習をとまなう専修科目4単位を修得しなければなりません。専修科目では指導教授に博士論文作成の研究指導を受けます。

その他に授業科目の中から指導教授の指導により4単位を修得しなければなりません。

なお、博士論文の審査については別に審査基準が設けられていますが、課程博士は博士課程入学後6年以内であれば取得できます。

博士論文の内容は、以下の能力を修得していることを口述試験によって審査し、博士の学位を授与します。

- (1) 地域社会の多様な分野を複合的に考察し、独自の視点から研究できる能力。
- (2) 地域社会の諸問題に精通し、高度な専門性と客観的な視点から比較検討できる能力。
- (3) 地域社会の諸問題に精通し、高度な専門性を必要とする職業に就ける能力。

## ●文学研究科 欧米文化専攻

### 【修士課程】

文学研究科欧米文化専攻修士課程では、愛知大学大学院学則に定められた各授業科目に割り当てられた単位数を合計32単位以上修得しなければなりません。研究方法論4単位、専修科目12単位（講義4単位、演習8単位）、その他講義科目から4科目16単位以上を修得することになっています。修士論文を書くに当たっては、1年次の10月に外国語認定試験の受験願いを提出し、それに合格した者だけに、修士論文執筆の資格が認められます。修士論文は英語と日本語のどちらで書いてもよいが、複数の審査員による論文審査と口述試問の厳格な審査を経なければなりません。

上記以外に、学生各自の物事に対する探求心と知的好奇心を以て自主的な研究に励まなければなりません。以下はそれに即した学位授与方針です。

- (1) 欧米文化に関する幅広い視野と識見を持ち、物事を主体的に判断する能力を持つこと。
- (2) 欧米文化に関する知識と語学力とを活用し、専門的な職業人として社会に貢献できる人材たること。
- (3) 欧米文化研究の深化と同時に、自主的に日本文化に対する造詣をも深くし、深く幅広い欧米文化の知識をもとに、日本文化の発展と向上に資する人材となる基礎能力を有すること。
- (4) 欧米文化の研究を通して欧米人を深く理解し、平和に貢献できる見識を持っていること。



## 【博士後期課程】

文学研究科欧米文化専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則に定められた通り、指導教授に博士論文作成の研究指導を受け、授業科目の中からは専修科目を4単位修得し、他に指導教授の指導により、授業科目の中から4単位を修得しなければなりません。さらに各自学生は専門分野の研究のみならず、関連分野にも目を向けて幅広い知識と視野を体得し、専門分野の研究を客観的立場から研鑽できるように努めなければなりません。

博士後期課程に3年以上在学し、この所定の単位を修得し必要な研究指導を受けた者は、博士の学位論文を提出できます。審査委員会は該当する科目又は関連科目を担当する教授3名以上からなり、論文審査、最終試験、並びに学力の確認を厳正に行ないます。以下は上記に即した学位授与方針です。

- (1) 欧米文化に精通し、高度な専門的知識を駆使して、独自の視点から専門分野の研究を推進する能力を有すること。
- (2) 日本の文化と歴史にも通暁し、欧米文化を客観的な立場から比較考察できる能力を有すること。
- (3) 欧米文化の研究が自ずと日本文化の発展に寄与し得るだけの質と客観性を持つこと。

## 愛知大学専門職大学院 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

### ●法科大学院

法科大学院では、次の3つの資質を備えた法曹養成を目指します。

- (1) 専門的な法的知識の修得
- (2) 法的思考力、法的分析力、法的表現能力、法的交渉能力などの養成
- (3) 豊かな人間性と鋭い人権感覚の涵養

所定の年限を在学し、本法科大学院が教育の理念及び目的に基づいて設定した所定のカリキュラムに沿った教育を受け、必要修得単位を含む所定の単位を修得することを、学位授与の要件とします。